

(3) ワクチン接種について

新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード（4月27日）資料

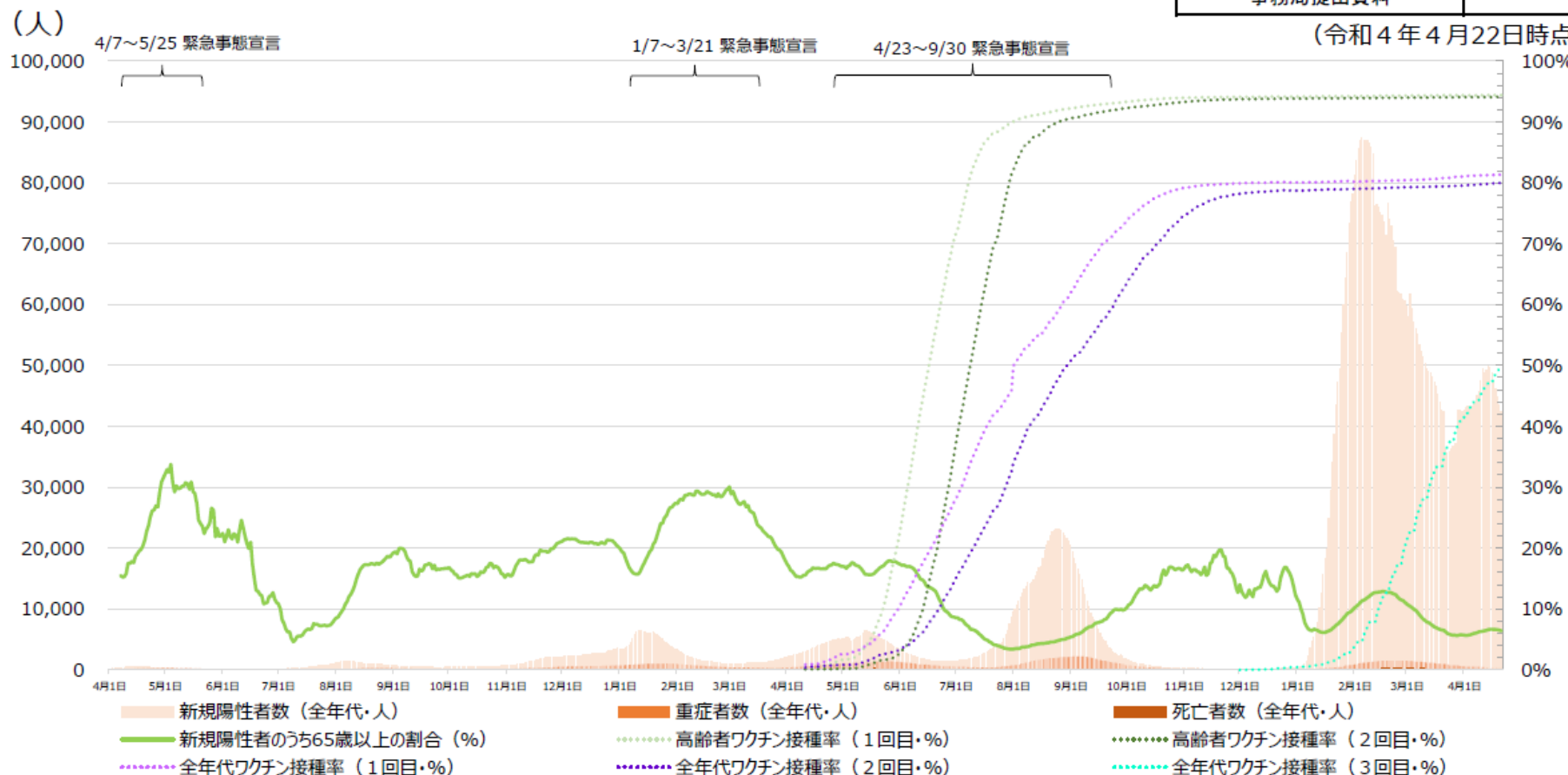
全国の新規陽性者数等及びワクチン接種率

第82回（令和4年4月27日）
新型コロナウイルス感染症対策
アドバイザリーボード

資料2-4

事務局提出資料

（令和4年4月22日時点）



※新規陽性者数、重症者数及び死亡者数については、令和2年5月8日から（死亡者については同年4月21日から）、データソースを厚生労働省が把握した個票を積み上げたものから、各自治体がウェブサイトで公表している数等を積み上げたものに変更。また、「新規陽性者数のうち65歳以上の割合」はHER-SYSに登録されている陽性者のうち、65歳以上の者の割合。新規陽性者数（全年代）および新規陽性者のうち65歳以上の割合は、直近7日間の移動平均の値。

※高齢者ワクチン接種率の算出においては、VRSへ報告された合計回数を使用。使用回数には、職域接種及び先行接種対象者のVRS未入力分が含まれていない。また、VRSに報告済みデータのうち、年齢が不明なものは計上していない。

※全年代のワクチン接種回数はいずれも首相官邸ウェブサイトの公表データを使用（一般接種（高齢者含む）はワクチン接種記録システム（VRS）への報告を、公表日ごとに累計したものであり、医療従事者等、職域接種はワクチン接種円滑化システム（V-SYS）への報告を、公表日ごとに累計したものである。また、職域接種の接種回数は、V-SYSとVRSで一部重複があるため、総合計の算出に当たっては重複を除外した（職域接種及び重複は、各公表日の直前の日曜日までのもの。）。医療従事者等は、令和3年7月30日で集計を終了しているため、8月3日以降のデータについては、8月2日の公表値（＝7月30日までの接種回数。）。

※各接種率の分母については、「全年代ワクチン接種率」に関しては全人口（出典：令和3年住民基本台帳年齢階級別人口（市区町村別））を、「高齢者ワクチン接種率」に関しては65歳以上人口（出典：令和3年住民基本台帳年齢階級別人口（市区町村別））をそれぞれ使用。

官邸ホームページの接種実績（最新：4月27日）

これまでの総接種回数：**270,206,587**回（令和4年4月27日公表）※1

増加回数：**+651,817**回（令和4年4月26日比）

（うち3回目接種完了者：**+595,140**回）

（総接種回数の内訳）※2

	全体						
			うち高齢者(65歳以上)		うち職域接種※3	うち小児接種※4	
	回数	接種率	回数	接種率	回数	回数	接種率
合計	270,206,587	—	97,519,461	—	22,698,170	1,532,290	—
うち1回以上接種者	103,134,014	81.4%	33,213,222	92.9%	9,742,071	947,449	12.8%
うち2回接種完了者	101,432,143	80.1%	33,113,277	92.6%	9,653,491	584,841	7.9%
うち3回接種完了者	65,640,430	51.8%	31,192,962	87.2%	3,302,608		

年代別 3 回目接種率（4 月 25 日時点）

12～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代
9.2%	30.1%	33.2%	42.7%	61.4%

60～64歳	65～69歳	70歳代	80歳代	90歳代	100歳以上
74.1%	80.1%	88.0%	90.6%	88.6%	85.2%

総理発言（令和4年4月26日（火））

- 最後に、ゴールデンウィークを迎えるに当たって、新型コロナ対策への御協力をお願いいたします。国民の皆様の御協力のおかげで、3年ぶりにまん延防止等重点措置や緊急事態宣言のないゴールデンウィークとなります。しかし、油断は禁物です。感染の再拡大を防ぎながら、徐々に社会経済活動を回復させていくことができるよう、国民の皆様に次の3点の御協力をお願いいたします。
- 第1に、ワクチン接種の促進です。
日頃、仕事や学校で忙しくされている方も、連休の機会にワクチンの接種をお願いいたします。
3回目の接種は感染防止に効果があり、特に重症化を防ぐことができます。 御自身や親しい方々を守るため、是非接種をお願いいたします。
- 第2に、積極的な検査の活用です。
帰省される方は、帰省される前に3回目接種又は検査を受けていただくようお願いいたします。
お近くの無料検査の拠点で検査を受けていただけるほか、連休中は主要な駅や空港等で臨時の無料検査拠点を拡充いたします。
- そして第3に、基本的な感染対策の徹底です。
改めて、マスクの着用、手指消毒、そして換気、3密の回避といった対策の徹底をお願いいたします。
- 引き続き平時への移行期間として最大限の警戒感を維持しながら、徐々に社会経済活動を回復させてまいります。 国民の皆さまの御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

2. 本日の論点：【3】新型コロナウイルスワクチンの4回目接種について

まとめ

1. オミクロン株に対する3回目接種の効果の持続期間について
 - 3回目接種後の重症化予防効果の長期的な推移は未だ明らかではないものの、感染予防効果、発症予防効果は経時的に低下することが明らかとなっている。
2. 4回目接種の有効性、安全性について
 - 査読済み論文がいまだ限定的であるが、オミクロン株流行下において、60歳以上の者におけるファイザー社ワクチンの（4回目未接種者に対する）4回目接種の重症化予防効果は6週間減衰しなかったと報告されており、死亡予防効果が得られることを示唆する研究報告もある。一方、感染予防効果は短期間しか持続しなかったと報告されている。
 - 未査読の報告ではあるが、18歳以上を対象とした臨床研究により、4回目接種後により、大多数の被験者に軽度の全身又は局所反応が誘発されたものの、重大な副反応は認めなかったとの報告がある。
3. 国内外の動向について
 - 4回目接種を推奨している国は増加しているが、多くの国では対象者を高い年齢層等の重症化リスクの高い者に限定している。
 - 国内において、薬事・食品衛生審議会で有効性・安全性を検討した結果、4月26日に添付文書の改訂が行われ、ベネフィットとリスクを考慮した上で、高齢者等において、ファイザー社ワクチン、モデルナ社ワクチンを用いて3回目接種から5か月以上の接種間隔をあけて4回目接種を判断することができるとされた。

事務局案

- 足下でオミクロン株の感染が収束しない中で、今後の再拡大も念頭におきつつ、3回目接種後のワクチンの有効性の持続期間や、現時点までに得られている4回目接種の有効性・安全性に関する知見、諸外国における対応状況等を踏まえ、新型コロナウイルス感染症にかかった場合の重症化予防を目的として、4回目接種を特例臨時接種として位置づけてはどうか。
- 使用するワクチンは、ファイザー社及びモデルナ社ワクチンとしてはどうか。（他のワクチンについては、科学的知見を踏まえ引き続き検討）

2. 本日の論点：【3】新型コロナウイルスワクチンの4回目接種について （4）4回目接種の対象者

まとめ

- 新型コロナウイルス感染症は、高齢の者ほど重症化しやすく、一定の基礎疾患をもつ者についても重症化しやすいことが明らかとなっている。
- オミクロン株流行下において、60歳以上の者におけるファイザー社ワクチンの（4回目未接種者に対する）4回目接種の重症化予防効果は6週間減衰しなかったと報告されており、同様に60歳以上の者において死亡予防効果・入院予防効果が得られることを示唆する研究報告もある。一方、感染予防効果は短期間しか持続しなかったと報告されている。
- 未査読の報告ではあるが、18歳以上を対象とした臨床研究により、4回目接種により、大多数の被験者に軽度の全身又は局所反応が誘発されたものの、重大な副反応は認めなかったと報告されている。
- 4回目接種を実施している諸外国では、対象者を重症化リスクの高い者等に限定している。
- 薬事・食品衛生審議会における議論において、3回目接種から少なくとも5か月経過した高齢者等が、ベネフィットとリスクを考慮した上で、4回目接種を判断することができるとされた。

事務局案

- **4回目接種の対象者は、ワクチンの添付文書の記載や、諸外国の対応状況、60歳以上の者に対する有効性に関する報告を踏まえ、①60歳以上の者及び②18歳以上で基礎疾患を有する者その他重症化リスクが高いと医師が認める者**としてはどうか。

2. 本日の論点：【3】新型コロナワクチンの4回目接種について （5）3回目接種から4回目接種までの接種間隔

まとめ

- 4回目接種を実施している諸外国では、3回目接種から4回目接種までの接種間隔を3～6か月としている。
- 薬事・食品衛生審議会における議論において、3回目接種から少なくとも5か月経過した高齢者等が、ベネフィットとリスクを考慮した上で、4回目接種を判断することができることとされた。



事務局案

- 3回目接種からの接種間隔は、添付文書の内容等を踏まえ、少なくとも5か月以上空けることとしてはどうか。

2. 本日の論点：【3】新型コロナウイルスワクチンの4回目接種について (6) 公的関与の規定の適用

まとめ

1. 法令上の考え方について

- 新型コロナウイルス感染症のまん延予防上緊急の必要がある場合に実施する特例臨時接種の趣旨から、接種勧奨・努力義務の規定は、原則として全ての接種対象者に適用される。
- ただし、それらの規定は、①新型コロナウイルス感染症のまん延の状況（公衆衛生の見地）と、②予防接種の有効性及び安全性に関する情報その他の情報を踏まえ、特定の対象者について適用しないこととすることができる。

2. 4回目接種に関する科学的知見について

- 60歳以上の者については、新型コロナウイルス感染症による死亡者数の割合が高い。他方、4回目接種により、重症化予防効果が一定の期間、保たれるという報告等がある。
- 基礎疾患があると新型コロナウイルス感染症による重症化のリスクが大きくなることが明らかとなっているものの、基礎疾患を有する者等への4回目接種の効果については、科学的知見が十分でない。
- 18歳以上の者に対する4回目接種の安全性については、大多数の被験者に軽度の全身又は局所反応が接種後に誘発されたものの、重大な副反応は認めなかったとする報告（未査読）がある。また、18歳以上の者への4回目接種の効果について、「若い健康な医療従事者に対する4回目接種のベネフィットは限定的である可能性がある」とする報告（未査読）がある。

事務局案

- 4回目接種の有効性及び安全性に関する現時点の科学的知見の集積状況も踏まえ、4回目接種を行う場合の**努力義務の規定**は、**①60歳以上の者については、原則どおり適用**することとし、**②60歳未満の者については、現時点では適用しないこと**としつつ、今後、最新の科学的知見を踏まえて、改めて議論することとしてはどうか。
- **接種勧奨の規定**は、特例臨時接種の趣旨も踏まえ、**原則どおり全ての接種対象者について適用する**こととしてはどうか。